

# 寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会

## 20年間の活動

令和7年

### 目次

目次 .....	1
I. 寺前東町・寺前西町・金沢町防災まちづくり計画 .....	3
II. 地域ささえあいとまちづくり協議会の活動 .....	9
III. まちづくり協議会による住民主体の活動 .....	10
(1) 災害時避難・初期消火のガイド .....	10
(2) 安全な避難経路の確保 .....	12
(3) 自助・共助の学び .....	13
IV. 今後の展望 .....	15
V. これまでのまちづくりニュース .....	16

寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会の地区は、鎌倉時代からの歴史的な資源と景勝地として栄えた門前町です。しかし、住宅が密集し、防災上の問題のあるまちとなりました。(狭い道路や行き止まり道路、老朽化した住宅や倒壊危険性のあるブロック塀など)

寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会の活動は、平成15年(2003年)10月の第1回の勉強会に始まります。災害に強く安全なまちづくりとともに、まちの良さを生かした魅力的なまち、子どもや高齢者など誰もが支えあう住みやすいまちづくりを進めてまいりました。さらに平成23年(2011年)3月の東日本大震災から、津波発生時に安全に避難できるまちづくりを進めてまいりました。

まちづくり協議会は今後も、地域に暮らし働く人々や土地所有者など関係者の皆様の声を聞きながら、皆で協力して、地域住民が安心して暮らせる、美しいまちを育てて行きます。

## Ⅰ. 寺前東町・寺前西町・金沢町防災まちづくり計画

平成 22 年(2010 年) 9 月に、まちづくり協議会と、まちづくり協議会が策定した「寺前東町・寺前西町・金沢町防災まちづくり計画」は、横浜市の地域まちづくり組織、地域まちづくりプランとして認定されました。

まちづくり協議会は防災まちづくり計画に則り、災害に強く安全な道路づくりと同時に、多くの住民の防災に対する関心を高め、住民主体の積極的な防災活動が進められる仕組みづくりに取り組んでまいりました。

- ・まちづくり協議会の区域は、平成 15 年に防災上課題のある密集住宅市街地の 1 つとして横浜市に指定されました。(横浜市“いえ・みち まち改善事業”)
- ・まちづくり協議会は平成 20 年 8 月に設立されました。そして「寺前東町・寺前西町・金沢町防災まちづくり計画」の策定において、防災まちづくりの勉強会や、まちあるき、見学会、住民アンケートなどを実施しました。
- ・防災まちづくり計画は令和 10 年 3 月まで認定延長となりました。
- ・防災まちづくり計画の目的：「防災性の向上など地区におけるまちづくりの課題を克服するため、まちづくりを行政に一方的に委ねるのではなく、住民自らが積極的にまちづくりに参加し、お互いの役割分担を考えながら、このまちをより良くするための取り組みを進めていき、地域住民が安心して暮らせる、美しいまちを育てていくことを目的とする。」

### ■防災まちづくり計画認定(平成 22 年)までの活動■

平成 15 年 10 月 いえ・みち まち改善事業勉強会の開催

平成 17 年 3 月 狭あい道路の拡幅工事竣工

平成 18 年 5 月 いえ・みち まち改善事業第 1 回勉強会の開催（新たな勉強会の始まり）  
平成 18 年度から 19 年度に、課題の検討・まちあるき等 11 回の勉強会を実施

平成 18 年 6 月 防災まちあるき（地区内の防災上の視点から整備の具体的な改善箇所を確認）

平成 18 年 8 月 まちづくりニュースの第 1 号発行

平成 20 年 6 月 小型ごみ収集車の導入（生活環境の改善）  
横浜市の地域まちづくりグループ登録

平成 20 年 8 月 「寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会」設立総会開催  
(68 人参加)

平成 21 年 10 月 磯子滝頭地区視察（18 人参加）

平成 22 年 7 月 定期総会にて防災まちづくり計画素案の報告と意見交換（約 40 人参加）

平成 22 年 8 月 まちづくり計画素案とアンケート（防災まちづくり計画に関する意見募集）の  
全戸配布（配布数 3,704）  
82 名から寄せられた意見をもとに、まちづくり計画の修正と確定

平成 22 年 11 月 地域まちづくり組織、地域まちづくりプランとして認定

## ■防災まちづくり計画認定(平成 22 年)からの活動■

平成 24 年 12 月	協議会 3 町毎の防災マップ作製 全戸配布	4,000 部
平成 25 年 12 月 25 日	金沢八幡公園開園 面積 800 m <sup>2</sup> 防災機能を備えた公園 竈ベンチ・40 m <sup>3</sup> 防火水槽・防災倉庫他	
平成 26 年 2 月 23 日	金沢八幡公園オープニングイベント開催	200 名
平成 26 年 11 月 9 日	金沢八幡公園防災訓練実施	150 名
平成 26 年度	称名寺 広域避難場所に通じる道路舗装	
平成 27 年 6 月 13 日	西戸部地区(一本松まちづくり協議会)視察	15 名
平成 27 年度	・三師会館内に 40 m <sup>3</sup> の防火水槽設置とこれに通じる狭あい道路整備 ・まつかぜ公園に防災倉庫・寺前 2 丁目に防災井戸設置 ・寺前 1 丁目狭あい道路拡幅整備 (児童の通学路)	
平成 28 年 6 月 30 日	防災寸劇と、未就学児親子との災害に備えてのヒアリング実施	21 名
平成 28 年 10 月 25 日	市民防災センター体験学習実施	30 名
平成 28 年 12 月	防災マップのアンケート 24 年度作成のマップ更新のため実施 住民の 4 割にあたる 1,188 通回収	
平成 29 年 1 月 22 日	称名寺スタンドパイプを使った消火栓取扱訓練実施	82 名
平成 29 年度	寺前 2 丁目狭あい道路拡幅整備完了	
平成 29 年 8 月 27 日	小学生による my 防災マップ作り実施	21 名
平成 29 年 11 月 9 日	子育て世代の市民防災センター体験学習実施	66 名
平成 30 年 1 月 28 日	称名寺スタンドパイプを使った消火栓取扱訓練実施	140 名
平成 30 年度	・まちかど防災啓発シート作成検討 ・防災マップ更新の検討 ・寺前 2 丁目狭あい道路拡幅整備完了	
平成 30 年 11 月	市民防災センター体験学習 (シニア世代)	42 名
平成 31 年 1 月	称名寺スタンドパイプを使った取扱訓練実施	
平成 31 年 2 月	まちかど防災啓発シート設置	2 か所
令和元年度	金沢町狭あい道路拡幅整備完了	
令和元年 11 月	市民防災センター体験学習 (子ども会)	
令和 2 年 3 月	まちかど防災啓発シート設置	2 か所
令和 2 年度	寺前 1 丁目狭あい道路拡幅整備完了	
令和 2 年 10 月	まちかど防災啓発シート設置	2 か所
令和 3 年 9 月	まちかど防災啓発シート設置	2 か所
令和 3 年 10 月	防災マップ更新	
令和 4 年度	寺前 2 丁目狭あい道路 (伝心寺近く) 拡幅整備完了	
令和 6 年	金沢南部地区スポーツフェスティバル 防災コーナー	573 名

## 1. はじめに

金沢南部地区（寺前東町・寺前西町・金沢町町内会の区域）は、防災上課題のある地区として横浜市の「いえ・みち まち改善事業」の一つに指定され、平成 15 年 10 月より勉強会を開催、平成 20 年 8 月に「寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会」を設立し、まち歩き調査、住民の皆さんへのアンケート調査などを通じ「防災まちづくり計画」の検討を進めてきました。今後は、この「防災まちづくり計画」をもとに、このまちを災害に強く、住みよいまちに育てていきたいと考えます。皆さんのご協力をお願いいたします。

### ※防災まちづくり計画とは

私たちのまちのこれからのあるべき姿のことを、地域の皆さんの意見を聞きながらまちづくり協議会が中心となって作成し、横浜市に提案するものです。今後は、この計画をベースに、地域住民、町内会、横浜市などがそれぞれの役割を持って防災まちづくりを進めていきます。

## 2. 現状と課題

まち歩きの成果やアンケート結果などに基づき、当地区が抱えているさまざまな課題を以下にまとめます。

### 2-1 防災上の課題

#### ①災害時の道路利用に不安がある

- ・狭い道路が多く、緊急車両の通行や避難路としての利用が難しい。
- ・電柱が道路上にあり、通行に支障がある。
- ・道路沿いに倒壊の危険があるブロック塀や石垣がある。
- ・セットバックされた場所にプランターなどが置かれ、通れなくなっている場所がある。



狭い道路の例

#### ②災害時に対応した防災広場や公園などの整備が必要

- ・防災広場や公園など安全に避難する場所が必要だ。
- ・広域避難場所の広場を適切に管理するため今以上に人手が必要だ。
- ・広域避難場所に向かう道が未舗装のため避難しづらい。

#### ③建物の安全性に不安がある

- ・古い木造家屋が密集している区域があり、災害時の倒壊や延焼が心配される。
- ・ミニ開発など敷地分割により、建物が建て込んできている。

#### ④消防設備等の利用に不安がある

- ・どこに消防設備があるか分かりづらい。
- ・井戸が多いが、使えなくなったものが増えている。
- ・消火栓や防火水槽が少ないエリアがある。



寺前町公園の防火水槽

#### ⑤地域活動をより活発にすべき

- ・日ごろのコミュニケーションを活発にして、いざというときに助け合えるようにしたい。
- ・一時避難場所と小学校との関係などを整理し、避難する時の決まりを作る必要がある。
- ・町内会など地域活動に参加してもらえない人が増えている。

### 2-2 安全上の課題

#### ①防犯上の課題がある

- ・空き家・廃屋があり、防犯・防災上心配がある。
- ・夜間の照明が少なかったり切れたりしているために暗い道がある。
- ・防犯パトロールなど防犯対策を強化したい。

#### ②自動車交通の危険な箇所がある

- ・カーブ等により見通しが悪く、危険な箇所がある。
- ・狭い道が通り抜けに使われている。
- ・行き止まりが多く、車のＵターンが出来ない場所がある。
- ・称名寺前は交通量が多く道幅が狭いため危険である。
- ・道路にはみ出した樹木があり、見通しの悪い場所がある。



称名寺赤門前の通り

#### ③歩行者・自転車の通行に不安がある

- ・歩行者や自転車の通行に危険な場所がある。
- ・自転車の運転マナーが悪い人がいる。
- ・旧国道 16 号の歩道に切下げなど段差があるため、車椅子などの利用に支障がある。
- ・未舗装の歩道が多く、歩きづらい。

### 2-3 その他の課題

#### ①生活マナーの悪い人がいる

- ・ごみ出しマナーの悪い人がいる。

#### ②伝統ある街並みづくりが必要である

- ・地区内に称名寺や県立金沢文庫など魅力的な場所がある。
- ・ミニ開発など敷地分割により、街並みが変わりつつある。歴史と伝統ある街並みを残したい。



称名寺参道

#### ③守るべき貴重なみどりがある

- ・地区全体として緑豊かな街並みになっている。
- ・称名寺の裏山など、まとまった緑に恵まれている。



### 3. まちづくりの将来像・基本方針

まちづくり協議会では、現在のまちの課題を踏まえて、以下のことを大切にまちづくりを進めていきます。

- 災害に強く、安全で安心なまちをつくる
- 地域で支えあう、住みやすいまちをつくる
- 歴史と伝統を活かした、緑豊かで美しいまちをつくる

### 4. まちづくり計画

#### 4-1 災害に強く、安全で安心なまちづくりへの取り組み

##### ①災害に強く安全な道路にする⇒重点推進項目①

- ・避難に使う道を予め決めて、みんなに知らせる。
- ・狭い道は、よく使われるものを優先して広げていく。
- ・電柱の移設や地中化など歩行者や車などが安全に通行するための取組を検討していく。
- ・セットバック部分にプランターなどを置かないように心がける。
- ・倒壊の危険性のあるブロック塀は、所有者の協力を得て改善を進める。
- ・避難方向を示す看板の設置等を検討する。

##### ②災害時に役立つ防災広場や公園をつくる

- ・新たな防災広場や公園の候補地を検討していく。
- ・広域避難場所の広場について、地域ぐるみでの管理方法を検討していく。
- ・防災広場や公園整備の際は、利用しやすくなるようみんなで検討していく。
- ・所有者の協力を得て、緊急時に駐車場などの通り抜けをお願いする。
- ・広域避難場所への安全な避難ルートを確認する。

##### ③建物の安全性を向上させていく

- ・倒壊や火災に強い建物への更新を促進する。
- ・市の助成を活用するなど、耐震診断・耐震改修を進める。
- ・建物に関するルールを検討していく。

##### ④消防設備の充実と活用を図る

- ・防災マップを作成するなど消防設備を活用しやすくする。
- ・今ある井戸を残し、保全・活用することを検討していく。
- ・防火水槽が不足している場所に、新たな設置を検討していく。

##### ⑤地域の防災活動を活発に行う⇒重点推進項目②

- ・町内会やまちづくり協議会などの活動を通じ日ごろからの防災意識の向上に努める。
- ・「安否確認票」を作るなど、災害時に適切に対応できる仕組みづくりを検討していく。
- ・いざというときに助け合えるよう、日ごろからのコミュニケーションを活発にしていける。
- ・消防団の活動紹介や防災イベントの工夫などにより、地域の防災活動に楽しく気軽に参加できるようにする。
- ・3町会での共同の防災活動を検討していく。

#### 4-2 地域で支えあう、住みやすいまちづくりへの取り組み

##### (1) 犯罪の起きない、安心なまちづくりへの取り組み

###### ①空き家対策を行う

- ・所有者の協力を得て、有効利用や除却を進める。

###### ②夜間照明の充実を図る

- ・街路灯・防犯灯などの増設と適切な管理を検討していく。

###### ③防犯パトロールを効果的に実施する

- ・警察への協力要請などを含め、地域住民による防犯パトロールを強化する。
- ・腕章をつけたり自転車に「パトロール中」の表示をしたりするなど、防犯意識が高い地域であることをアピールしていく。

##### (2) 歩行者にとって安全な交通環境づくりへの取り組み

###### ①自動車交通を改善していく

- ・所有者の協力を得て、見通しの悪い箇所、行止まり箇所の改善や、Uターン場所の確保を検討する。
- ・称名寺前の通りは、拡幅、信号の設置、バイクを含めた一方通行化など改善策を検討していく。
- ・路上駐車を減らすため、駐車マナーの改善策を検討したり、称名寺に外来者用駐車場の設置をお願いする。
- ・道路に樹木が飛び出さないよう、私有地の樹木管理の徹底を図る。

###### ②歩行者・自転車にとって安全な空間づくりを進める

- ・自転車の運転マナーの改善策を検討していく。
- ・未舗装私道の舗装を、所有者の協力を得ながらすすめる。
- ・旧国道16号における段差の改善策を検討していく。

#### 4-3 歴史と伝統を活かした、緑豊かで美しいまちづくりへの取り組み

##### ①住民の生活マナーの改善を図る

- ・ごみ出しマナーの改善策を検討していく。

##### ②伝統ある街並みを守る








- ・歴史と伝統を感じさせる街並みや景観を保全・向上させる仕組みづくりを検討していく。

##### ③まちなかの緑を管理する

- ・地域に残された緑を保全・管理するルールづくりを検討していく。

## 5. まちづくり計画図

これまでの協議会の話し合い、アンケート調査、まち歩き等を通じ、災害時の避難の観点などから整備・改善の必要な道路・交差点などを地図上に示しました。

計画	凡例	取組み内容
整備の必要な道路		・ 災害時の避難や緊急車両の通行が可能となるよう、沿道の土地・建物所有者等の協力により道路の拡幅を進めていく。
①狭あい道路 整備促進路線		※狭あい道路整備促進路線・・・幅員 4 m 未満の道路のうち、特に整備の促進を図る必要があると市長が指定したもの。
②その他		
特に改善の必要な道路		・ 地域にとって特に重要な道路として改善を進める。
交差点の改善		・ 安全でスムーズな交通を確保するため、土地・建物所有者等の協力を得て、交差点の改善を進める。
行き止まりの解消を図る区域※		・ 土地・建物所有者等の協力を得ながら、重点的に行き止まりの解消を図る。
防災広場や公園の整備を図る区域※		・ 重点的に防災広場や公園の整備を図る。
防火水槽の整備を図る区域※		・ 重点的に防火水槽の整備を図る。

※図上に示す区域は大まかな範囲を示したものであり、厳密な境界を示したものではありません。

## 6. まちづくりの重点推進項目

まちづくり計画の中で、とくに緊急度・必要性和高いものを「重点推進項目」として取り組みます。

### 【重点推進項目①】

#### 「災害に強く安全な道路にする」

- ・ まちづくり計画図の「整備の必要な道路」の整備が可能となるよう、土地・建物所有者等への働きかけを行う。
- ・ 「特に改善の必要な道路」は関係機関との調整を図りながら検討を進める。
- ・ 道路の安全性を確保するため、「整備の必要な道路」沿いの危険なブロック塀を中心に、改良を働きかける。



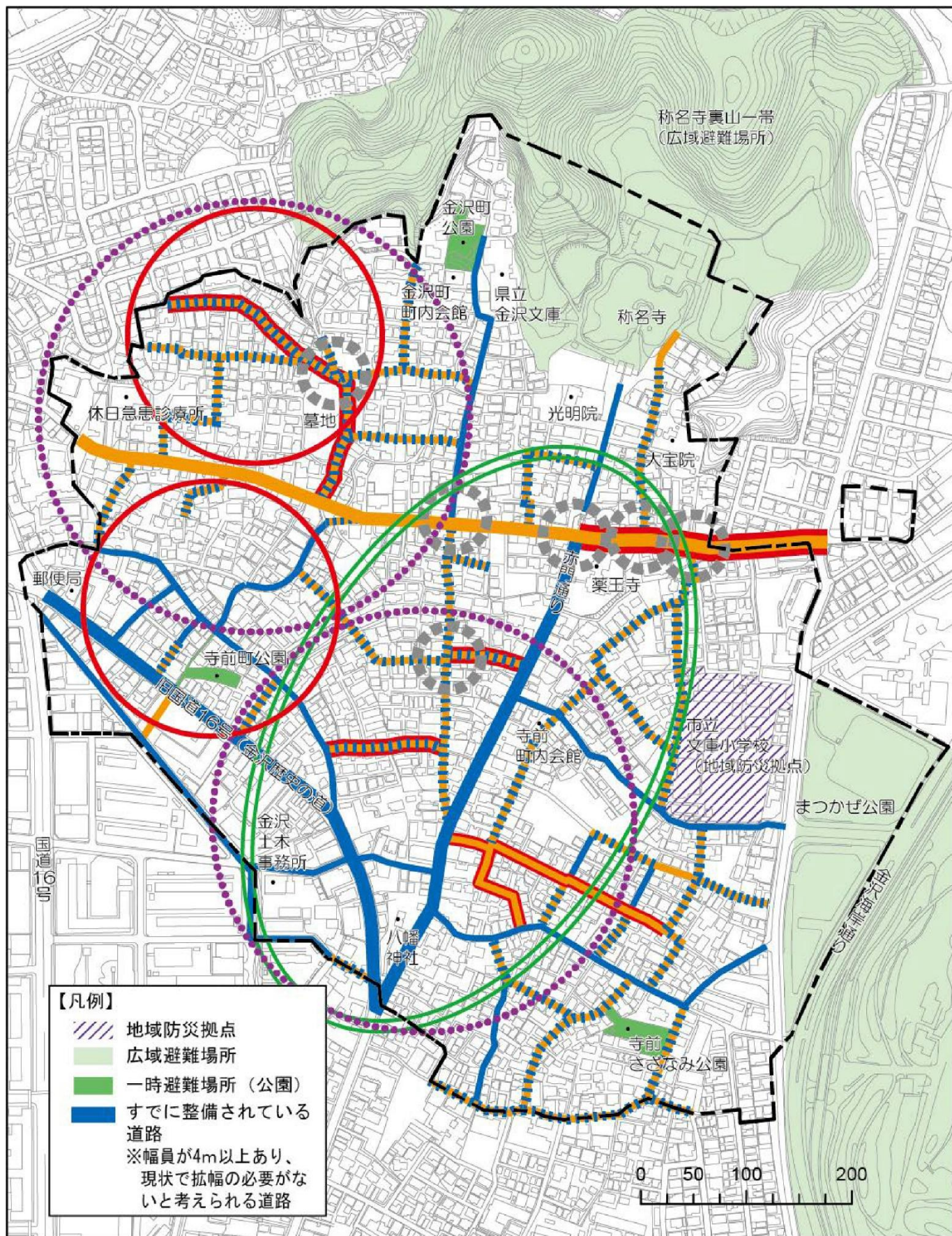
### 【重点推進項目②】

#### 「地域の防災活動を活発に行う」

- ・ 防災活動を今まで以上に活発にするため、3町会で協力して方策の検討を進める。
- ・ 消防団や家庭防災員の活動をニュース等で紹介するなど、より多くの住民の防災に対する関心を高めていく。
- ・ より多くの住民が地域の防災活動に参加できる仕組みを考える。









## II. 地域ささえあいとまちづくり協議会の活動

金沢南部地区連合町内会(地区社協)や、町内会・家庭防災員・老人会・子ども会・地域防災拠点運営委員会・消防団子育て支援団体等は、防災を含めた、地域ささえあいを進めています。

まちづくり協議会は、地域ささえあいと協働して、(1) 災害時避難・初期消火のガイド、(2) 安全な避難経路等の確保、(3) 自助・共助の学びといった「寺前東町・寺前西町・金沢町防災まちづくり計画」でのまちづくりの将来像・基本方針に則るまちづくりを進めています。

- ・まちづくり協議会の区域は、寺前東町内会・寺前西町内会・金沢町内会です(まちづくり協議会規約第2条)。金沢南部地区連合町内会(地区社協)や地域防災拠点(文庫小学校)、金沢消防団第四分団の区域とおおむね一致します。
- ・またまちづくり協議会の区域は、避難場所(称名寺・文庫小等)などを共有しています。
- ・まちづくり協議会は、柴町内会とマリシティ金沢文庫自治会の方々とも、防災訓練や見学会など、安全なまちづくりを共に進めています。

「寺前東町・寺前西町・金沢町防災まちづくり計画」でのまちづくりの将来像・基本方針

- 1 災害に強く、安全で安心なまちをつくる
- 2 地域で支えあう、住みやすいまちをつくる
- 3 歴史と伝統を活かした、緑豊かで美しいをつくる



### 【まちづくり協議会の活動】

- (1) 災害時避難・初期消火のガイド：防災マップ及び防災啓発シートづくりなど
- (2) 安全な避難経路等の確保：狭あい道路拡幅、まちあるき、防災公園など
- (3) 自助・共助の学び：町内会等の情報共有・勉強会、防災訓練、見学会、講演会など



### ◆地域ささえあい◆

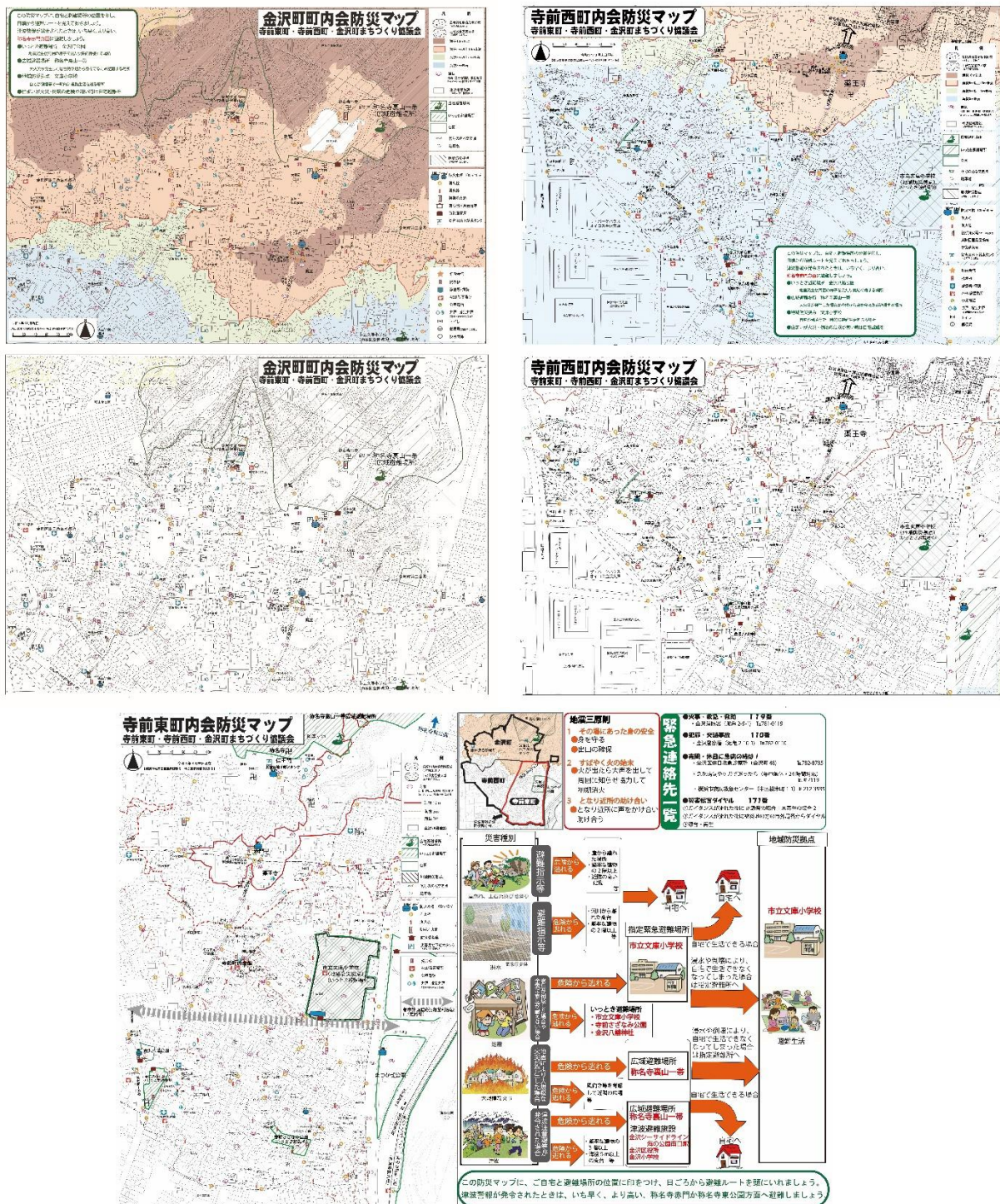
担い手	フェーズ				
	日常	発災直後	発災後 24 時間 まで	発災後 72 時間 (目安)まで	復旧・復興期
町内会 家庭防災員 など	○災害時要援 護者の見守 り ○地域の防災 訓練・防災 学習	○初期消火・救 急、地域の安 全性確認、避 難誘導 ○安否確認と要 援護者支援	○それぞれの 状況に応じ た避難場所 の確保	○避難生活の 支援、炊き 出し など	ケアの継続  見守り・居住 支援・生活支 援(災害関連 死を防ぐなど)
地域防災拠点 運営委員会	○安心安全な 生活環境づ くり ○担い手の拡 がり	○地域防災拠点(文庫小学校)の開設 *震度5強以上 *発災から72時間までの開設が目安 *津波に関しては、文庫小が使用不可能と認め られる場合、代替施設使用			復旧・復興 支援
消防団		○消火活動 ○後方支援			

### Ⅲ. まちづくり協議会による住民主体の活動

#### (1) 災害時避難・初期消火のガイド

##### 1) 防災マップ

- ・平成 23 年度から平成 24 年度にかけて、防災マップを作成。海拔や崩壊危険区域、避難場所、消火水槽・消火栓・倉庫・給水タンク等を表示。全戸に配布しました。
- ・平成 28 年度に防災マップの利用状況についてアンケートを実施し、その結果をニュースで報告しました。また平成 29 年度はアンケートを踏まえ、防災マップを活用した災害時緊急対応方策検討・防災訓練を実施しました。
- ・令和 3 年には各自書き込み用の白黒版を組み合わせたバージョンに更新しました。





## 2)防災啓発シート

- ・地域の防災意識の向上を図ることを目的として、地域の歴史・海拔・地震三原則などを表示したものを町内会掲示板の下に設置しました。

**ここは、海拔 3.0m です**

\*地震の時は身の安全。  
\*津波の恐れのある時は、高台  
(称名寺・裏山)へ逃げる

この先に広域避難場所があります。

**歴史の街「金沢」**

金沢八景  
洲崎晴嵐 平湯落雁  
瀬戸秋月 野島夕照  
小泉夜雨 内川暮雪  
乙船帰帆 称名晩鐘

**地震3原則**

- 1 その場にあった身の安全  
●身を守る ●出口の確保
- 2 すばやく火の始末  
●火が出たら大声を出して周囲に知らせ協力して初期消火
- 3 となり近所の助け合い  
●となり近所に声をかけ合い助け合う

寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会

**ここは、海拔 10.0m です**

\*地震の時は身の安全。  
\*津波の恐れのある時は、高台  
(称名寺・裏山)へ逃げる

この先に広域避難場所があります。

**木造金剛力士立像**

称名寺に三門の左右に安置されている4メートル高の巨像です。  
口を開いた可形像と口を閉じた不可形像からなります。

**地震3原則**

- 1 その場にあった身の安全  
●身を守る ●出口の確保
- 2 すばやく火の始末  
●火が出たら大声を出して周囲に知らせ協力して初期消火
- 3 となり近所の助け合い  
●となり近所に声をかけ合い助け合う

寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会

**ここは、海拔 2.0m です**

\*地震の時は身の安全。  
\*津波の恐れのある時は、高台  
(称名寺・裏山)へ逃げる

この先に広域避難場所があります。

**避難のきまり お・か・し・も**

おさない かけない しやべらない もどらない

※ここには以前、金沢警察署がありました

**地震3原則**

- 1 その場にあった身の安全  
●身を守る ●出口の確保
- 2 すばやく火の始末  
●火が出たら大声を出して周囲に知らせ協力して初期消火
- 3 となり近所の助け合い  
●となり近所に声をかけ合い助け合う

寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会





## (2) 安全な避難経路の確保

### 1) 狭い道路拡幅・まちあるきとワークショップ

- ・まちづくり協議会では狭い道路の拡幅整備を進めてきました。
- ・また、防災マップを活用したまちあるきとワークショップにより、電柱等の支障物や危険ブロック、さらに空き家など安全で安心なまちづくりに気になるところや、災害時の避難路やいっとき避難所について話し合いました。

【整備前】



【整備後】





## 2)金沢八幡公園

- ・平成 25 年 12 月に横浜市水道局の旧用地において防災公園として整備した金沢八幡公園が開園しました。整備においては、まちづくり協議会と造園設計者の意見交換を数回行っています。
- ・平成 26 年 2 月にはオープンイベントを開催しました（文庫小学校マーチングバンドによる開幕、金沢八幡公園防災施設の紹介、消防団によるポンプ車の紹介、かまどベンチを活用した炊き出し訓練）
- ・その後も金沢八幡公園での防災訓練や炊き出し訓練が行われています。



## （３）自助・共助の学び

### 1)講演会

- ・まちづくり協議会の総会で、講師をお招きし、講演会を開催しました。

### 2)防災訓練

- ・防災マップでは消火栓や初期消火箱、倉庫の位置を示しています。スタンドパイプによる消火栓からの初期消火の訓練が、稱名寺において実施しています。
- ・その他、稱名寺仁王門前災害用地下給水タンク操作訓練などを実施しています。



## 3)横浜市市民防災センター見学

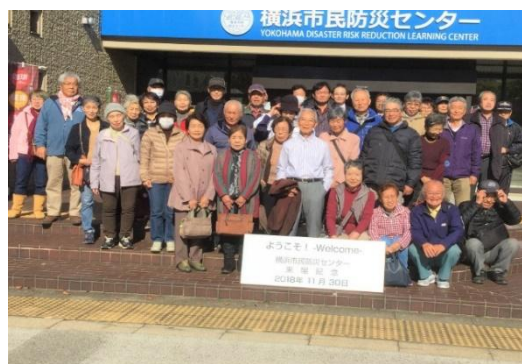
- ・リニューアルオープン(平成 28 年 4 月 1 日)した横浜市市民防災センターの見学会を実施しました。

平成 28 年 11 月：地域からの参加者募集

平成 29 年 11 月：子育て世代

平成 30 年 12 月：シニア世代

令和元年 12 月：子ども会





#### 4)子ども・子育てにおける防災

##### ①防災寸劇

- ・まちづくり協議会では妊産婦・乳幼児やジェンダー、子どもの視点での防災に取り組んできました。
- ・平成 28 年にはシーエンジェル共催で、女性が主役の防災寸劇「災害に備えて～こどものために出来ること」を実施しました。
- ・防災寸劇の後は、参加された女性たちでワークショップを行い、感じたこと、考えたことを話し合いました。



##### ②my 減災マップ

- ・平成 29 年には子ども会と連携し、小学生による my 減災マップづくり実施を実施しました。
- ・まちづくり協議会がつくった防災マップをベースに、子ども達が、災害が起きた時、どこにどう逃げるか、家族とどこで待ち合わせるか、避難ルートに危険なところがないかなどを書き込みました。



##### ③金沢南部地区スポーツフェスティバル

- ・令和 6 年のフェスティバルにまちづくり協議会で参加しました(防災コーナー：水消火器・カエル人形搬送)。



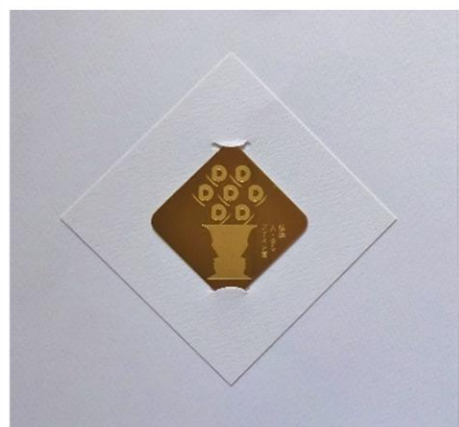
#### 5)他地区の見学

- ・平成 27 年にはまちづくり協議会の役員が、西戸部地区へ視察研修を行いました。現地では一本松まちづくり協議会の方々と交流の場を持ち、まちづくり協議会の取組みについて、情報交換をいたしました。



#### 令和元年「横浜・人・まち・デザイン賞（地域まちづくり部門）」表彰

まちづくり協議会の「地域の魅力を生かしたまた、災害に強いまちづくり」が評価され、横浜市の「横浜・人・まち・デザイン賞（地域まちづくり部門）」に表彰されました。





## IV. 今後の展望

「寺前東町・寺前西町・金沢町防災まちづくり計画」(平成 22 年認定)の項目ごとに、これまでの活動の評価をまとめました。そして、まちづくり協議会の今後の展望(活動)を次のように考えました。

### 【まちづくり協議会の今後の展望(活動)】

- 狭い道路の拡幅については、建て替えの機会を捉えて拡幅・声掛けを行っていく。
- 既存公園等について、マンホールトイレの設置等の防災機能の充実化について検討する。
- 引き続き、防災マップの活用・更新を進める。
- 引き続き、「防災啓発シート」等により、防災と併せて歴史の伝承も行う。
- 引き続き、自助・共助の学びや他地区との情報交換を進めていく。
- 空き家対策については、各町内会で抱える課題を相談・連携しながら進めていく。

### ◆計画項目ごとのこれまでの活動成果◆

1 災害に強く、安全で安心なまちづくりへの取組み	
まちづくり計画での計画項目	これまでの活動成果
1-①. 災害に強く安全な道路にする	4 計画に基づき、狭い道路を拡幅した。
1-②. 災害時に役立つ防災広場や公園をつくる	5 金沢八幡公園整備完了。その他既存公園の防災利用等も考えたい(マンホールトイレ等)。
1-③. 建物の安全性を向上させていく	3 所有者が行う建物の安全性の向上について、まちづくり協議会としては、周知・啓発などを行ってきた。
1-④. 消防設備の充実と活用を図る	4 防災マップの作成等活用の啓発を進めている。
1-⑤. 地域の防災活動を活発に行う	4 各町内会・連合町内会・地域防災拠点運営委員会で活発に活動している。まちづくり協議会では講演会や見学会をはじめ、自助・共助の学びや他地区との情報交換を進めている。
2 地域で支えあう、住みやすいまちづくりへの取組み	
(1) 犯罪の起きない、安心なまちづくりへの取組み	
まちづくり計画での計画項目	これまでの活動成果
2-(1)-①. 空き家対策を行う	※ 平成 26 年に「空家等対策措置法」が施行され、空き家対策については、区等が窓口となって対応している。地域としては、以前は協議会で空き家の除却・防災広場等について検討したこともあったが、現在は区と協力しながら、各町内会で対応している。
2-(1)-②. 夜間照明の充実を図る	※ 各町内会で対応している。
2-(1)-③. 防犯パトロールを効果的に実施する	※ 各町内会で対応している。
(2) 歩行者にとって安全な交通環境づくりへの取組み	
まちづくり計画での計画項目	これまでの活動成果
2-(2)-①. 自動車交通を改善していく	2 議論を行った。
2-(2)-②. 歩行者・自転車にとって安全な空間づくりを進める	※ 泥亀釜利谷線について情報収集・共有。さらにスクールゾーン対策協議会での検討。旧国道 16 号の段差解消。
3 歴史と伝統を活かした、緑豊かで美しいまちづくりへの取組み	
まちづくり計画での計画項目	これまでの活動成果
3-①. 住民の生活マナーの改善を図る	※ 各町内会で対応している。
3-②. 伝統ある街並みを守る	3 「防災啓発シート」で、防災の啓発と併せて歴史に関する情報も掲載し、歴史の伝承に努めている。
3-③. まちなかの緑を管理する	※ 緑の管理については、各町内会で対応している。また、空家等の緑については、区が窓口となり対応している。

↑【これまでの活動成果の評価】 1：できていない／2：ほぼできていない／3：まあまあできた／4：やれることはやった／5：やりきった

※：町内会又は個人が主体となり実施している(実施する)

## V. これまでのまちづくりニュース

号	発行年月	西暦	主な掲載内容
1	平成 18 年 8 月	2006	いえ・みちまち改善事業勉強会第 1 回(5 月 14 日曜日)と第 2 回(まちあるき 6 月 25 日曜日)の報告
2	平成 18 年 12 月	2006	勉強会第 3 回(8 月 20 日曜日)、第 4 回(10 月 15 日曜日)の報告
3	平成 19 年	2007	勉強会第 5 回～第 10 回の報告第 11 回勉強会のお知らせメンバーの募集
4	平成 20 年 9 月	2008	「寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会」設立総会開催(8 月 3 日曜日)の報告
5	平成 21 年 7 月	2009	第 2 回まちづくり協議会総会の報告
6	平成 22 年 3 月	2010	2 回のまちあるきと、滝頭・磯子地区見学会(11 月 15 日曜日)の報告
7	平成 22 年 5 月	2010	「防災まちづくり計画に関するアンケート」(6 月予定)ご協力をお願い
8	平成 22 年 6 月	2010	第 3 回まちづくり協議会総会のご案内
9	平成 22 年 7 月	2010	「防災まちづくり計画(素案)」へのご意見の募集 ※「防災まちづくり計画(素案)」を別添配布
10	平成 22 年 10 月	2010	「防災まちづくり計画」完成の報告計画策定の経緯説明 ※「防災まちづくり計画」を別添配布
11	平成 22 年 12 月	2010	「防災まちづくり計画」の横浜市地域まちづくりプラン認定の報告
12	平成 23 年 6 月	2011	第 4 回まちづくり協議会総会のご案内
13	平成 23 年 9 月	2011	第 4 回まちづくり協議会総会の報告
14	平成 24 年 4 月	2012	まちづくり協議会の活動報告(防災マップ、防災広場整備、狭あい道路拡幅等)
15	平成 24 年 5 月	2012	第 5 回まちづくり協議会総会のご案内
16	平成 24 年 8 月	2012	第 5 回まちづくり協議会総会のご報告
17	平成 24 年 9 月	2012	防災マップ精査・確認等のまちあるき開催のご案内(9 月 30 日曜日)
18	平成 24 年 11 月	2012	まちあるきの報告(防災マップのチェックや飛び出している電柱、空き家確認)
19	平成 25 年 1 月	2013	まちづくり協議会の活動報告(防災マップ、防災広場整備、狭あい道路拡幅等)
20	平成 25 年 3 月	2013	防災マップの最終案確定と全戸配布(3 月末～4 月初の予定)の報告
21	平成 25 年 6 月	2013	第 6 回まちづくり協議会総会のご案内
22	平成 25 年 7 月	2013	第 6 回まちづくり協議会総会の報告
23	平成 25 年 10 月	2013	まちあるき開催のご案内(10 月 27 日曜日)
24	平成 26 年 1 月	2014	金沢八幡公園の開園(12 月)
25	平成 26 年 3 月	2014	金沢八幡公園オープニングイベント報告(2 月 23 日曜日)
26	平成 26 年 6 月	2014	第 7 回まちづくり協議会総会のご案内
27	平成 26 年 7 月	2014	第 7 回まちづくり協議会総会の報告
28	平成 26 年 10 月	2014	金沢八幡公園防災訓練のご案内(11 月 9 日曜日)
29	平成 26 年 12 月	2014	金沢八幡公園防災訓練報告
30	平成 27 年 1 月	2015	まちあるき開催のご案内(2 月 1 日曜日)
31	平成 27 年 3 月	2015	まちあるきの報告
32	平成 27 年 4 月	2015	第 8 回まちづくり協議会総会のご案内

33	平成 27 年 6 月	2015	第 8 回まちづくり協議会総会の報告
34	平成 27 年 8 月	2015	西戸部地区（一本松まちづくり協議会）視察の報告（6 月 13 日土曜日）
35	平成 28 年 1 月	2016	称名寺広場でのスタンドパイプ使用訓練のご案内（1 月 30 日土曜日）
36	平成 28 年 3 月	2016	スタンドパイプ使用訓練のご報告
37	平成 28 年 4 月	2016	第 9 回まちづくり協議会総会のご案内
38	平成 28 年 5 月	2016	第 9 回まちづくり協議会総会のご報告 子育て世帯グループヒヤリング開催のご案内(6 月 30 日木曜日)
39	平成 28 年 8 月	2016	子育て世帯グループヒヤリングの報告 寺前二丁目での狭あい道路拡幅整備工事
40	平成 28 年 9 月	2016	横浜市民防災センター見学報告のご案内
41	平成 28 年 11 月	2016	横浜市民防災センター見学報告
42	平成 28 年 12 月	2016	「防災マップに関するアンケート調査」の結果報告
43	平成 29 年 2 月	2017	称名寺消防総合訓練スタンドパイプを使った初期消火訓練
44	平成 29 年 4 月	2017	【第 10 回まちづくり協議会総会のご案内】
45	平成 29 年 5 月	2017	第 10 回まちづくり協議会総会の報告
46	平成 29 年 9 月	2017	小学生による m y 減災マップづくり報告
47	平成 29 年 11 月	2017	市民防災センター見学会(子育て世代)の報告(11 月 9 日木曜日)
48	平成 30 年 2 月	2018	称名寺消防総合訓練・スタンドパイプ式消火栓訓練の報告(1 月 28 日日曜日)
49	平成 30 年 4 月	2018	【第 11 回まちづくり協議会総会のご案内】
50	平成 30 年 5 月	2018	第 11 回まちづくり協議会総会報告
51	平成 30 年 9 月	2018	横浜市の危険ブロック塀の改善における補助制度のご案内
52	平成 30 年 12 月	2018	市民防災センター見学会(シニア世代)のご報告(11 月 30 日金曜日)
53	平成 31 年 2 月	2019	文庫小学校地域防災拠点防災訓練(12 月 15 日). 称名寺消防総合訓練・スタン ドパイプ訓練(1 月 27 日日曜日)の報告
54	平成 31 年 4 月	2019	第 12 回まちづくり協議会総会のご案内 “まちかど防災啓発シート”のご紹介
55	令和元年 5 月	2019	第 12 回まちづくり協議会総会の報告 「横浜・人・まち・デザイン賞（地域まちづくり部門）」表彰
56	令和元年 12 月	2019	市民防災センター見学会(子ども会)の報告(11 月 24 日日曜日)
57	令和 2 年 7 月	2020	第 13 回まちづくり協議会総会の報告狭あい道路拡幅整備実績
58	令和 3 年 7 月	2021	第 14 回まちづくり協議会総会の報告
59	令和 4 年 8 月	2022	第 15 回まちづくり協議会総会の報告
60	令和 5 年 8 月	2023	称名寺仁王門前災害用地下給水タンク操作訓練(2 月 25 日土曜日)の報告
61	令和 6 年 12 月	2024	金沢南部地区スポーツフェスティバルの報告

## 寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会 20 年間の活動

令和 7 年

編集：寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会

吉武俊一郎（横浜市まちづくりコーディネーター）